

受講者募集 親子のふれあい広場 0コース

- 趣 旨
- 1 子どもと遊べる親になる。
 - 2 遊びを通して子どもが育つことを体得する。
 - 3 子どもの発達を理解し、子育てに自信を持ち、乳幼児の健康増進と健全な発育をはかる。
 - 4 親どうしがふれあい、共に学習することを通して連帯感を深める。

- 対象者 1歳6ヶ月以上で保育園・幼稚園入園前の幼児と親または祖父母。
- 参加費 600円（初回に納入）
- 定 員 30組
- 会 場 総合学習センター・飯山市公民館
- 申込先 飯山市公民館（TEL62-3342）
- 日 程（午前9時30分～11時）

- 12/5（水） 開講式・わらべうたあそび
- 12/19（水） クリスマス会
- 1/9（水） つくってあそぼう
- 1/23（水） 雪あそび
- 2/2（土） お父さんとあそぼう
- 2/20（水） ふれあい歌あそび・閉講式

□受付期間：11月6日（火）～11月19日（月）□
たくさんのお申込みをおまちお待ちしております。

地区の話題 地区公民館報「いいやま」縮刷版 発行します！

地区館報「いいやま」が分館報「飯山」昭和60年8月15日発行の第1号から本年10月15日発行で第100号を数えました。これを記念して、100号までの地区館報「いいやま」縮刷版を、予算的な問題もあるので公民館の印刷機による手作りでの発行を進めています。

縮刷版は、A4サイズ、300ページ（上質紙150枚・厚さ1.5mm）程度のもので300部、12月上旬で発行、製作実費分として200円（紙代）程度で頒布する予定です。

飯山地区公民館20年余の活動記録の集大成としての参考資料になると思いますので、ご希望の方は、飯山公民館（電話62-13342）まで、申し込みください。



飯山地区公民館主事 江尻

★マイ
★オピニオン
★意見・私見

専門部員になって思う事

瑞穂地区広報部 岡本義明



今年から専門部員として活動するようになり、すでに一年が過ぎようとしています。自分が専門部員となって初めて、前任の方々がどのような活動を行ってきたのか、うかがい知る事ができました。今まで公民館活動について、全くとっていいほど関心がなく、色々な教室等行っていた事すら知りませんでした。以前の自分のような方達に、まずはいかにか公民館活動を知ってもらおうかという事が大切か、あらためて思いました。そう思う一方で、一番参加し

てもらいたい若い方達は、仕事等もありなかなか参加出来ないというのもあるのではないかと思います。自分を考えてみても、イベントや会議のために休暇や早退をしなければならなくなってしまうのはどうなのか、それだけの意味があるのか、公民館活動自体必要な事なのかと迷ってしまいう事も多々あります。今までの諸先輩方も、苦勞されてよりよい方向へ改善されて来たことと思いますが、今あらためて思うことは、いかに多くの人が参加出来るかという事なのだと思っています。そのために、専門部員として今後が出来るか、今後の自分への課題だと思っています。

こんな講座をやってみよう！

総合学習センター講座内容募集

総合学習センターでは、次年度の講座を考えるにあたり、皆様のご意見を募集いたします。やってみたい講座、教えてもらいたい講師、こんなことを教えてみたい方など、ご意見をお寄せください。

連絡先・総合学習センター・飯山市公民館（TEL62-3342）

FAX 62-5640）
E-mail: kouninkan@city.iijima.nagano.jp

積極的にかかわりたい

平成19年度 総合学習センター女性セミナー終了

今年で22年目を迎えた女性セミナーは、去る10月18日の市内見学を最後に6月から10月までの6回講座を終了しました。42名の受講生は、20代から70代までの幅広い年齢層でしたが、和気あいあいと楽しく講座を受講されました。

1回目 健康講座「春のブナ林でリフレッシュ」初めて野外開講式を行い、ブナ林の中の太極拳と森林浴で心身共にリフレッシュできた受講生の感想です。



2回目 アトピーからがんまでくさい社会の落とし穴「免疫力をつける生活」ユーモアたっぷりの藤田紘一郎先生のお話から免疫力をつけることの大切さを教わりました。



安曇野ちひろ美術館にて

3回目「北アルプスを眺めながらゆっくり安曇野散策」安曇野を巡りながらいろいろな人と親しくなれました。

4回目「自分らしく介護と向き合う女性たち」介護現場の取材から「介護ジャーナル「あったかいこ」の編集長さんからお話を聞きました。介護する立場になった時の対処の仕方などいろいろな情報を教えていただきました。

5回目「子どもたちの叫びが聞こえますか」中央児童相談所から来ていただき児童相談所の事業内容や現実が起こっている様々な事例をあげて地域で暮らす私達はどのように対応していけばいいかなどをお話いただきました。



飯山市美術館

秋の企画展

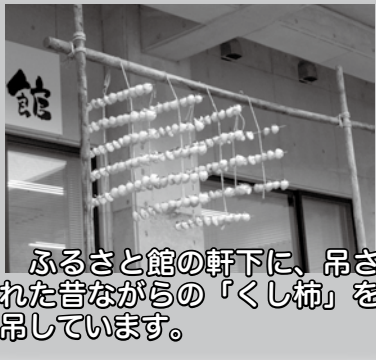
『長谷川青澄挿絵原画展 古典文学を描く』 閉幕

去る11月11日、『長谷川青澄挿絵原画展 古典文学を描く』が盛況のうちに終了しました。当市の名誉市民である長谷川青澄画伯（1916～2004、日本美術院同人評議員）の作品といえは畳3枚分もあるような院展出品作品を思い出す方も少なくないと思いますが、この企画展では画伯の手がけた古典文学を題材とした貴重な挿絵の原画約170点あまりを個人から借用し展示しました。

期間中、市内外から大勢の方々が入館され、「長谷川青澄先生の絵の素晴らしさに感



飯山市ふるさと館



ふるさと館の軒下に、吊された昔ながらの「くし柿」を吊しています。

飯山市美術館・飯山市ふるさと館からのお知らせ

11月1日より、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及びその方の介助の方1名について、入館料を無料といたします。市内小中学生と同伴の保護者の方も無料となっておりますので、お気軽にご来館ください。